

平成28年度熊本県社会福祉功労者 県知事表彰受賞



ほりた たえこ
堀田 多恵子さん

2月20日(火)、熊本県庁にて「平成28年度熊本県社会福祉功労者県知事表彰式」が行われ、本会から推薦した堀田多恵子さんが社会福祉事業関係団体職員の功労者として県知事より表彰されました。堀田さんは、大津町社会福祉協議会デイサービスの看護師兼介護職員として15年以上勤務。利用者一人ひとりの状況に応じた細やかな援助等で、在宅福祉サービス利用者の福祉の向上に寄与しました。また、ミュージックケアワーカーとして、デイサービスや介護

予防型ミニデイふれあい事業などで高齢者へ音楽療法指導を行うなど、大津町の介護予防事業に貢献されています。栄誉ある受賞、誠におめでとうございます。今後の益々のご活躍を祈念いたします。



社協デイサービスで音楽に合わせて指の体操。
フロアいっぱいに笑顔があふれます。

在宅介護者の集い

この事業は社協会費及び寄附金を活用し実施しました

2月27日(月)、阿蘇熊本空港ホテルエミナースで在宅介護者の集いを行い、日々家族介護に励む在宅介護者19名が会食、温泉、マッサージで日々の疲れを癒しました。同じ家族介護でもその境遇は様々ですが、「家族を大切に思い、日々介護を頑張っている」ことは同じです。参加者同士、最後は「また元気にお会いしましょう」と帰路に着きました。

参加者の声

色々思い悩むこともあります
が、他の方の日々の介護の
様子を聞くことができ心が軽く
なりました。

初めての参加でしたが、いろいろ
の方の介護の方法、経験、これから的问题など聞くことができ良かったです。張り切りすぎ
ないよう、見切れないよう、「できるし」
でいきたいと思います。

新しい知り合いが出来たことが嬉しいです。み
なさん偉いですね。痛い
いました。次回もまた参
加したいです。

楽しく会話し、おいし
い料理をいただき、日頃
の疲れを忘れた一日でした。今日は本当にストレス
がとれて楽しい時間を
過ごしました。



地域包括支援センターより介護
保険の概要と在宅介護に関する
サービスの説明。当事者な
らはの疑問、質問があり、参加者
は互いに理解を深めました。



マッサージ後の参加者から
「気持ちが良かつた」「姿勢が
くなつた」「目が覚めました」
など心身ともにリフレッシュでき
た様子が伺えました。



熊本地震で被災した方々の生活再建に向けたお手伝いをしています
お困りごとや心配ごと、お問い合わせはこちらへ

090-8622-2030
(地域支え合いセンター直通)

■開設日時 月～金曜日 午前9時～午後5時

日赤社費・共同募金・社協会費の募集について

現在、各世帯に対し行政区嘱託員(区長)さんや組長さん、会計さんを通してお願ひしております。日赤社費・共同募金・社協会費の募集は、平成29年3月31日までとなっております。まだお済でない地区がございましたら、本会へ納入くださいますようご確認をお願いいたします。熊本地震の影響から、例年と募集期間等が異なっております。ご不明な点は下記までお問い合わせください。支出多端な折、大変恐縮ですが、皆様のご協力の程よろしくお願ひいたします。

- 受付窓口・問合せ先
大津町社会福祉協議会
(大津町老人福祉センター内)
大津町室151番地1 ☎(293)2027
- 募集期間
平成29年3月31日(金)まで

種 別	募 集 額	合 計 額
日赤社費	500 円 / 世帯	1,500 円 / 世帯
共同募金	500 円 / 世帯(目安額)	(目安額)
社協会費	500 円 / 世帯	

「平成28年熊本地震義援金」の受付期間が延長されました

平成28年4月に発生した熊本地震に対する義援金は、いまだ多くの義援金が寄せられていること、被災者の生活再建に時間を要することから、この度、来年3月31日(土)まで延長されることとなりました。本会で受け付けた義援金は全額熊本県共同募金会へ送金し、県共募から熊本県の義援金配分委員会に送られ、全額被災者に支給されます。引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

- 募集期間 平成30年3月31日(土)まで
- 募金方法 大津町社会福祉協議会窓口持参
- 受付日時 月～金曜 午前8時30分～午後5時まで

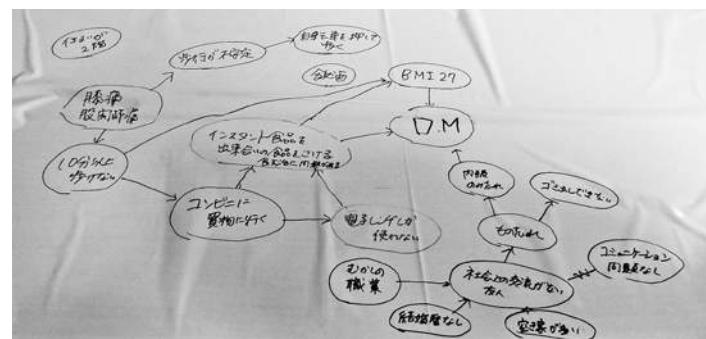
■ 義援金受付報告(1~2月受付分)
株式会社ベッセルホテル開発様
その他に匿名での受付もありました。

大津町居宅介護支援専門員(ケアマネージャー)基礎研修～公開講座～



講師の眞鍋幸子さん

町内のケアマネージャーを対象に、アローチャート研究会講師で居宅介護支援事業所・青い鳥の眞鍋幸子さんを迎える、「アローチャートで的を得る」をテーマに研修会を行いました。ケアマネージャーは、要介護者やその家族からの介護に関する困りごとや要望などの相談に応じてケアプランを作成したり、関係機関へ連絡調整を行ったりします。今回の研修では、相談者のお困りごとを図式化し、どのように解決していくかを分析する方法を学びました。参加したケアマネージャーからは「分かりやすかつた」「これからも勉強を重ねて、相談者の力になりたいです」との感想が聞かれました。



「アローチャート」とは、ケアプラン作成のために収集された様々な情報を、○(丸)や→(矢印)などの記号を使って図式化したものです。



▲配偶者を亡くされ、結婚50年を迎えた方を表彰する一人だけの金婚式。今年は3名の方が受賞されました。



▲生涯学習センター内和室では、男女共同参画審議会によるお茶席が行われました。



▲リニエルサプライによる車いす体験。様々な車いすに実際に試乗することができます。



▲生涯学習センターロビーにて実施された展示コーナー。仮設住宅入居者の方が作成された貼り絵が展示されました。



▲今年も中学生、高校生、大学生、総勢138名のボランティアさんが、前日準備、模擬店、ステージ、片づけなど様々な場所で活躍されました。ボランティアさんの力によって福祉まつりは支えられています。



▲今年も中学生、高校生、大学生、総勢138名のボランティアさんが、前日準備、模擬店、ステージ、片づけなど様々な場所で活躍されました。ボランティアさんの力によって福祉まつりは支えられています。

福祉まつりは、赤い羽根共同募金の地域配分金を活用して実施されました。



笑顔あふれるこころのまつり 第18回福祉まつり



3月5日(日)、大津町生涯学習センターを会場に、団体の参加、協力のもと、第18回福祉まつりが行われました。福祉まつりは、町内の福祉施設・ボランティア・ループ・小中高校・保育園・幼稚園などの福祉関係者や、福地協力者が「福祉まつり実行委員会」を組織し、毎年10月の第3日曜日に実施されています。今回は昨年発生した熊本地震による影響で通常通りの開催が難しいとの判断になり、実行委員会で検討を重ねた結果、開催日時、場所を変更して実施することになりました。時折、雨が降りましたが、当日は、4千人を超える来場者でにぎわいました。今回は沖縄県北中城村よりそい隊による沖縄そば、シーサー作り体験、東熊本青年会議所によるバザー等が新しく行われ、会場は多くの笑顔が溢れました。



▲沖縄県北中城村よりそい隊によるシーサー作り体験では、多くの子どもたちが楽しんでいました。



▲今回、ステージ発表は文化ホールにて実施しました。タンポポリフレッシュダンスでは観客も一緒になって踊りました。



あなたのまちの ボランティアセンター

問い合わせ先☎(293) 2027

お楽しみ勉強交流会を開催しました



大津町ボランティア連絡協議会と大津町ボランティアセンターでは、次年度に向けて、町内のボランティアさんの活動を支援する仕組みづくりを検討しています。その一つとして、菊池市ボランティア連絡協議会の活動支援事業を皆さんと学び、実際に申請用紙に記入してみて、ご意見やご感想をいただきました。日頃の活動をふり返りながら、活発な意見交換が行われました。勉強会の後は、昼食を取りつつ、bingoゲームや告知コーナーなどもあり、たくさんの笑顔と情報を交換できました。参加された皆さまありがとうございました。

町内でボランティア活動をされている方、また、これから活動を考えいらっしゃる方、どうぞお気軽に老人福祉センターにあります大津町ボランティアセンターをお尋ねください。

2月12日、大津町ボランティア連絡協議会と大津町ボランティアセンターの共催で「お楽しみ勉強交流会」を開催しました。町内で活動されている団体、個人のボランティアさん47名が参加され、イベント名の通り、交流も、勉強も、お楽しみも、と内容盛りだくさんの充実した会となりました。



大津町ボランティアセンター+I (ぶらす屋)

本会では、この度の震災で被災された高齢者や障がい者の世帯などから、原状回復や室内の片付け、被災財(がれき)の運び出しなどのご相談を受け、町内外のボランティアさんのご協力で、被災された方のお宅でお手伝いをしています。発災から11ヶ月が経ち、復旧、復興が進む中で、仮設住宅の入居・退去の際の家財の移動、住家の解体・修復に伴う片付けなどでお困りの際は、まずはご相談ください。

■【電 話】 096-293-2027

■【お 願 い】 ボランティアの活動内容には限りがあり、ご要望に添えない場合もございます。
その際は、内容に応じて専門家へご相談いただきますよう、お願ひいたします。

活動希望者も
募集しています